



第 1 1 期事業年度
(平成 2 6 年度)

決 算 報 告 書

平成 2 7 年 6 月

国立大学法人 信州大学

平成26年度 決算報告書(補正予算一有)

国立大学法人 信州大学
(単位:百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	14,087	14,811	723	(注1)
うち補正予算による追加	0	29	29	
施設整備費補助金	0	5,738	5,738	(注2)
うち補正予算による追加	0	2,174	2,174	
船舶建造費補助金	-	-	-	
補助金等収入	782	2,232	1,450	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	73	73	0	
自己収入	28,124	29,577	1,452	
授業料、入学料及び検定料収入	6,508	6,288	△ 220	(注4)
附属病院収入	21,376	22,307	931	(注5)
財産処分収入	0	0	0	
雑収入	240	981	741	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	3,394	3,273	△ 120	(注7)
引当金取崩	0	135	135	
長期借入金収入	0	0	0	
目的積立金取崩	112	170	57	
計	46,574	56,012	9,437	
支出				
業務費	39,901	42,262	2,361	
教育研究経費	20,948	21,815	867	(注8)
うち復興関連事業	0	29	29	
診療経費	18,952	20,447	1,494	(注9)
うち復興関連事業	-	-	-	
施設整備費	73	5,811	5,738	(注10)
うち耐震対策事業	0	2,174	2,174	
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	782	2,232	1,450	(注11)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	3,394	3,303	△ 91	(注12)
長期借入金償還金	2,423	2,436	12	
国立大学財務・経営センター施設費納付金	0	0	0	
計	46,574	56,046	9,471	
収入-支出	0	△ 33	△ 33	

○予算と決算の差異について

- (注1) 特別運営費交付金「学長のリーダーシップの発揮」を更に高める特別措置枠等が追加交付され、また、前年度からの繰越額を使用したことにより、予算金額に比して723,715千円多額となっています。
- (注2) 25年度補正予算(第1号)耐震対策事業及び地域産学官連携科学技術振興拠点施設整備事業の前年度からの繰越額を使用したこと等により、予算金額に比して決算金額が5,738,165千円多額となっています。
- (注3) 地域産学官連携科学技術振興事業及び予算段階では予定していなかった補助金事業の獲得に努めたため、予算金額に比して決算金額が1,450,084千円多額となっています。
- (注4) 学生数において、入学者及び在籍者が予定を下回ったため、予算金額に比して決算金額が220,028千円少額となっています。
- (注5) 急性期看護補助体制加算の上位への移行、PETの稼働等により診療単価の増につながり、予算金額に比して決算金額が931,540千円多額となっています。
- (注6) 農場演習林収入等の増により、予算金額に比して決算金額が741,259千円多額となっています。
- (注7) 予算段階での見込を下回ったため、予算金額に比して決算金額が120,725千円少額となっています。
- (注8) (注1)に示した理由及び目的積立金の執行等により、予算金額に比して決算金額が867,020千円多額となっています。
- (注9) (注5)に示した理由に伴う、医薬品・材料費の増等により、予算金額に比して決算金額が1,494,800千円多額となっています。
- (注10) (注2)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が5,738,165千円多額となっています。
- (注11) (注3)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が1,450,084千円多額となっています。
- (注12) (注7)に示した理由及び執行残の翌年度への繰り越し等により、予算金額に比して決算金額が91,551千円少額となっています。